

OSAKA

かまなん

議会だより

議会を見にいくのかも!

第2回定例会

条例審議など・・・・・・・・・・P 2

特集1▶ 資格審査特別委員会・・・P 4

特集2▶ 小学校統合など・・・P 7

これが聞きたいねん 議員の質問・・・P 8

シリーズ 人 荻野源吾さん・・・P16

撮影場所 寺田オアシス広場

2017.9 No.136

発行/河南町議会
編集/広報特別委員会



安心して子育て
できる町やね!

平成29年第2回定例会を、6月7日から6月20日までの会期で開催しました。
条例の改正や補正予算などが提出され、慎重に審議を行いました。
一般質問では、7人の議員が町政について活発な議論を行いました。

河南町議会 第2回定例会

職員の子育休休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

内容 職員の育児休業は、1回が原則であったが、保育所等に入所が認められなかった場合、再度の育児休業の取得や、育児休業の期間延長が出来るよう改正。

問 職員の育休取得率は。

答 現在は10%である。

問 男女比は。

答 男性は0人である。

問 自治体は男性の子育て参加や育休取得を促進させなければいけない立場であるにも関わらず、過去をさかのぼっても男性が育休をとった例はないと聞く。男性が育休を取得する環境が整っていないのでは。

答 制度上育休取得については、男女に差はない

が、育休期間中については、給与が支給できないのが原因と考えられる。



職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について

内容 雇用保険法の改正により、失業等給付内容が変更されたことに伴う所要の改正。

河南町税条例の一部を改正する条例の制定について

内容 地方税法の改正に伴う個人町民税の配偶者控除、配偶者特別控除の見直し、及び都市緑地法等の改正に伴う緑地保全・緑化推進法人による一定の市民緑地のために供する土地に係る固定資

産税のわがまち特例の創設。

河南町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

内容 介護保険料の所得段階を判定する基準は、現在「合計所得金額」としていたが、改正により合計所得金額から長期及び短期の譲渡所得に係る特別控除額を控除した額となる。

問 基本的に対象者にとってプラスとなるような条例制定と聞くが、長期譲渡所得の場合で一部対象者にとってマイナスとなることあるのでは。

答 所得の計算方法があり、対象者にプラスとなる政策である。

平成29年度河南町一般会計補正予算(第1号)

内容 ・自治体クラウドシステム利用料(2,626万円)
・デマンド型交通調査検

計業務(202万円)
・コミュニティ助成金(250万円)
・道の駅かなん直売所などの整備工事(2,020万円)

問 クラウドシステム導入による費用対効果は。

答 過去7年間の単独と比べて、約55%強の削減効果がある。

問 クラウドシステム導入によるセキュリティはどうか。

答 今以上にセキュリティは強化される。

河南町立近つ飛鳥小学校空調設備設置工事の工事請負契約について

内容 普通教室17室、特別教室9室の26教室に空調を設置する。
契約金額 4,860万円

問 最低入札価格の設定は他の市町村の入札価格を参考にしたのか。

答 国基準に基づいて設定した。



実績はある業者なのか。

答 技術者、職人が17名で、大阪市立蒲生中学校の空調機設置工事などを手がけている。

問 工事契約は分離発注ではなく、なぜ一括発注なのか。

答 一括で発注すると経費的にも安くなる。

問 普通教室と特別教室は機種が変わるのか。

答 機種は同じ物であるが、広さと場所により若干の能力の差はある。

問 他の自治体の状況も把握しながら設定する方が、安く契約できるのではないか。

答 研究させていただきたい。

問 工期が10月31日までとなっている。教育活動に支障のない期間で事業を終えられるのか。

答 夏休み期間中でほぼ終了する予定。

問 運用にあたって、管理運営基準を設けていたきたい。

答 運営基準については学校と相談し作成する。

問 落札した会社の過去の事業実績はどのようなものか。空調設備工事の

実績はどの程度まで認められるのか。

「2025日本万国博覧会」の大阪誘致に対する決議

内容 大阪万博誘致の決議案(6頁に決議文掲載)を提出。

河南町立中央公民館及び図書室移転工事の工事請負契約について

内容 やまなみホールへの公民館及び図書室移転のための改修工事及び付帯工事

契約金額 2億4,516万円



問 追加工事は発生するのか。また、発生した場合、金額はどの程度まで認められるのか。

答 今の時点ではわからない。新築工事ではないため、工事が進む中で追加工事が発生する可能性はあるが、現状ではこの契約内容で執行したい。

問 契約方法は予定価格が2億円以上の工事であるため、簡易型総合評価方式一般入札として実施された。しかし、入札価格が低入札価格調査基準価格を下回る価格であったため低入札価格調査委員会が設置された。調査及び審査が行われた結果、契約内容に適合した履行がされると認められたが、その判断理由は。

答 落札候補者から提出された入札価格の根拠資料に基づき、総合的に判断して契約内容に適合した履行がなされると判断した。

問 追加工事が発生した場合、金額の大小にかかわらず議決をとるのか。

答 契約した金額に変更があれば、再度議決をい

ただく。

問 今までの工事でも思わぬ追加工事が発生している。設計がしっかりしていれば、追加工事は少なくてすむが。

答 設計、積算については、町の内部で確認している。ただ、目に見えない部分での変更は、今の段階で想定できない。

また、設計等に瑕疵が発生した場合、設計業者等に損害賠償等を行わせる。

河南町議会 第1回臨時会 5月26日

専決第1号 平成28年度河南町一般会計補正予算(第8号)

内容 各種譲与税及び交付金の確定に伴う増減。

専決第2号 河南町税条例の一部を改正する条例の制定について

内容 地方税法等の改正

に伴う軽自動車税のグリーン化特例の2年延長、保育施設の受け皿整備のため家屋及び償却資産に係る固定資産税の特例措置、被災住宅用地を住宅用地とみなす期間の延長に伴う所要の改正。

問 説明のあった保育事業について、変更点の詳細を問う。

答 保育事業(家庭的保育、事業所内保育、居宅訪問型保育)に供する家屋及び償却資産に係る固定資産税の課税標準について、価格の2分の1を参酌して3分の1から3分の2の範囲内で市町村の条例で定める割合になったことから、本町は2分の1で規定している。

加藤議員の議員の資格決定について

・資格審査特別委員会報告

・加藤議員の弁明

・加藤議員の弁明

・加藤議員の弁明

・加藤議員の弁明

・加藤議員の弁明

・加藤議員の弁明

・加藤議員の弁明

・加藤議員の弁明

・加藤議員の弁明

加藤久宏議員に対する資格決定要求

「議員資格なし」の決定

被選挙権を有しない

資格審査特別委員会の設置及び審査経過

資格決定要求書(抜粋)
次の議員の被選挙権の有無について、地方自治法第127条第1項の規定により決定されるよう別紙証拠書類を添え、河南町議会会議規則第100条の規定により要求します。(以下略)

加藤久宏議員の生活の本拠地は河南町ではなく、富田林市にあるので、議員の資格を有しないと、廣谷議員から資格決定要求書が昨年の12月15日に議長宛に提出されました。この要求書を受け、12月21日の本会議において、6人の委員からなる資格審査特別委員会に「加藤

加藤久宏議員の生活の本拠地は河南町ではなく、富田林市にあるので、議員の資格を有しないと、廣谷議員から資格決定要求書が昨年の12月15日に議長宛に提出されました。この要求書を受け、12月21日の本会議において、6人の委員からなる資格審査特別委員会に「加藤

議員の議員の資格決定の件」を付託しました。その後、計11回にわたる資格審査特別委員会が開催され、加藤久宏議員の資格の決定の有無(生活の本拠地はどこにあるか)について審査が行われました。なお、5月16日に開催された第11回資格審査特別委員会では、今までの審査をもとに、生活の本拠地は河南町ではなく、富田林市にあるとの審査報告書(案)を委員全員が賛成のもと作成され、議長宛に臨時議会を招集し、報告を行いたいと申し出がありました。

資格決定書

資格の決定を求めた議員 廣谷 武
資格の決定を求められた議員 加藤 久宏

加藤久宏議員の議員の資格の有無につき、次のように決定する。

1 決定 被選挙権を有しない
2 理由 別紙のとおり

平成29年5月26日
河南町議会

月26日に開催した臨時議会では、資格審査特別委員会委員長から委員会での審査結果である審査報告書が読み上げられ「議員の資格を有しない」との報告がなされました。委員会の審査報告後、加藤久宏議員が報告書に対する弁明を述べてから採決を行った結果、退場となった加藤久宏議員を除く議員全員(議長を含む)の賛成により、「被選挙権を有しないため議員の資格は有さない」と決定されました。

議員資格無しの理由

加藤氏の居住実態が一体どちらにあるのかという疑問を解消するため、時間と労力を使い地道な作業をくり返し行い、様々な客観的証拠を積み上げた結果、寝泊まり以外の生活実態については、平成28年6月20日以降も、住民票の異動前と質的な変化は認められず、また、ほぼ毎日何らかの理由により、前住所地に行き来を行っているため、妻子が暮らしている前住所地

が生活の本拠であると判断し、被選挙権を有しないと決定しました。

この決定を受け、加藤久宏議員は、河南町議会議員を失職となりました。 ※なお、加藤久宏氏は、町議会の資格決定に関する処分を不服として、大阪府知事に審査の申立を行われています。

今回の争点

加藤議員の選挙権があると言えるのは、町議会選挙告示日の3カ月前、平成28年6月20日以降現在まで、引き続き河南町の区域内に住所を有する事が条件となります。

加藤議員は、平成28年3月3日、前住所である富田林市に妻子を残し、単身で河南町大宝に転入、父母と三人で生活を行っていた。大宝の住所は、今までと同様に勤務地で、

政治活動や事業活動の本拠地でもある。

なお、私生活においても、起臥寝食の大部分を大宝で行っており、まさしく大宝が生活の本拠地である。

・通常の生活パターン

加藤議員は、毎朝5時頃に起床、子どもが学校に行く日は、ほとんど毎朝6時から8時頃まで、富田林市の前住所地に向き、家の安全確認と子どもの見送りを行っている。そして夜は、仕事のため行くことができない日を除き、週に4、5日は、子どもの宿題を見に行っていた。

また、月に数回は、富田林市の前住所地で寝泊まりをしていた。

これ以外は、大宝の住所において、仕事及び政治活動等を行っているか、納品のため大阪市内等に配送業務などを行っている。

第1回～第11回 資格審査特別委員会の審査内容等

月日等	資格審査の経過及び内容等
定例会 12/15	・加藤議員に対する資格決定要求書が議員から提出される
12/21 定例会 及び 第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・加藤議員の弁明を受ける ・資格審査特別委員会が設置され、「加藤議員の議員の資格決定の件」を資格審査特別委員会に付託することで決定 ・第1回資格審査特別委員会を開催し、中川委員長、佐々木副委員長が互選される。 ・資格審査特別委員会から100条調査権の付託要求がされ、議会から100条調査権を資格審査特別委員会に委任することに決定

1/11 第2回	・辞職勧告決議案の可決後に加藤議員から議長あてに提出された弁明書をもとに調査を開始
1/17 第3回	・加藤議員、住民部長、選挙管理委員会事務局長を参考人として、委員会での証言を求める
1/31 第4回	・委員会から加藤議員に対して要求した書類が提出され、その書類をもとに審査
2/7 第5回	・河南町大宝と富田林市の現地調査を行い生活状況の確認
2/14 第6回	・河南町大宝と富田林市の近隣住民への聞き取り調査

月日等	資格審査の経過及び内容等
2/21 第7回	・100条調査における証言を求めるため、加藤議員の証人尋問
2/28 第8回	・現地調査及び聞き取り調査の取りまとめ、今後の審査方法について協議、加藤議員・配偶者及び母の証人尋問を行うことに決定
3/14 第9回	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会から加藤議員に対して追加要求した書類が提出され、その書類をもとに審査 ・加藤議員、配偶者及び母の証人尋問の内容等について協議
3/28 第10回	・加藤議員、配偶者及び母の証人尋問
5/16 第11回	・生活の本拠地は河南町ではなく、富田林市にあるとの審査報告書(案)に委員全員が賛成

5/26 臨時会	<ul style="list-style-type: none"> ・資格審査特別委員会報告を委員長が行う ・委員会報告に対し、加藤議員が弁明を行う(弁明終了後、議場を退場) ・加藤議員を除く、議員(議長を含む11名)で採決し、全員が議員資格なしの委員会報告に賛成する。 ・議員の資格を有しないと決定されたため加藤議員は同日失職となった。
-------------	--

資格審査特別委員会

委員長 中川 博
副委員長 佐々木 希絵
委員 大門 晶子 廣谷 武
小山 彬夫 野村 守

平成 29 年第 2 回定例会審議結果

○ 賛否の別れた議案 ●

議案の採決は、力武清議長を除く 10 人で行います。

各議員の審議結果 (○=賛成 ●=反対 / =審議不参加 △=除斥 --=議長)	審議結果	佐々木希絵	浅岡正広	中川博	大門晶子	力武清	廣谷武	田中慶一	小山彬夫	浅岡幸晴	野村守	福田太郎
件名												
河南町農業委員会委員の任命につき認定農業者等又はこれらに準ずる者が委員の過半数を占めることを要しない場合の同意について	同意	●	○	○	○	—	●	○	○	○	○	○
河南町議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案否決	●	●	○	○	※1 ●	●	●	●	○	○	○
「2025 日本万国博覧会」の大阪誘致に対する決議	原案可決	●	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○

※ 1 可否同数のため議長裁決

○ 全会一致の議案 ○

件名	結果	件名	結果
職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	河南町農業委員会委員の任命について (14名)	同意
職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	河南町立近つ飛鳥小学校空調設備設置工事の工事請負契約について	原案可決
河南町税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	町道の路線認定について	原案可決
河南町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	河南町立中央公民館及び図書室移転工事の工事請負契約について	原案可決
平成 29 年度河南町一般会計補正予算 (第 1 号)	原案可決	人権擁護委員候補者の推薦について (5名)	適任

河南町農業委員会委員の任命 (14名 順不同・敬称略)	
松井 嘉昭	一須賀
村元 良昭	山城
田中 茂一	神山
西川 久	寛弘寺
林 隆文	白木
福田 正穂	神山
上田 雄一	寺田
武田 文夫	中
大西 啓之	中
山本 澄子	大宝 5 丁目
桑名 繁雄	平石
吉年 幸太郎	加納
森 芳明	上河内
上條 章	下河内

人権擁護委員の推薦 (5名 順不同・敬称略)	
加賀山 順子	大宝
武本 洋子	加納
立華 日出子	中
田毎 宣隆	大ヶ塚
大城 一郎	さくら坂

「2025 日本万国博覧会」の大阪誘致に対する決議
<p>国際博覧会は、人類が抱える地球的規模の課題に対し、世界からの知恵を一同に集めることで、解決策を提言する場であり、新しい時代を生きる知恵を広く発信することにより、世界と日本の平和的発展に大きく寄与することが期待されている。</p> <p>先日、政府において、閣議了解が行われ、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとした国際博覧会の開催についての書簡を B I E (博覧会国際事務局)へ提出し、立候補が行われたところである。</p> <p>国際博覧会の大阪での開催は、古くから、人々の叡智により新たな技術を生み出し、文化・産業の両面から国内外をリードしてきた大阪から、世界中の人々の健康に係る様々な課題を克服し、人類の未来に向けてより良い生活を送ることができる新しいモデルを提案することや、それを広く世界に発信するという点において、大変意義がある。</p> <p>また、新たな観光や産業のイノベーションが期待できるなど、大きな経済効果をもたらすとともに、全世界に向けて大阪の存在感を示す絶好の機会にもなり、町民の健康増進や地域の振興にも寄与するなど、都市の活性化、町民生活の向上も期待できる。</p> <p>とりわけ、本町にとっても、地域振興をはじめ、観光魅力の発信や産業振興、町民の健康づくりに寄与する万博は大きな効果が期待できる。</p> <p>そこで、河南町議会としては、大阪での国際博覧会開催の意義に賛同するものであり、国際博覧会の誘致・実現に向け、大阪府・大阪市や経済界とともに、積極的に取り組むこととする。</p> <p style="text-align: right;">以上、決議する。 平成 29 年 6 月 7 日 大阪府南河内郡河南町議会</p>

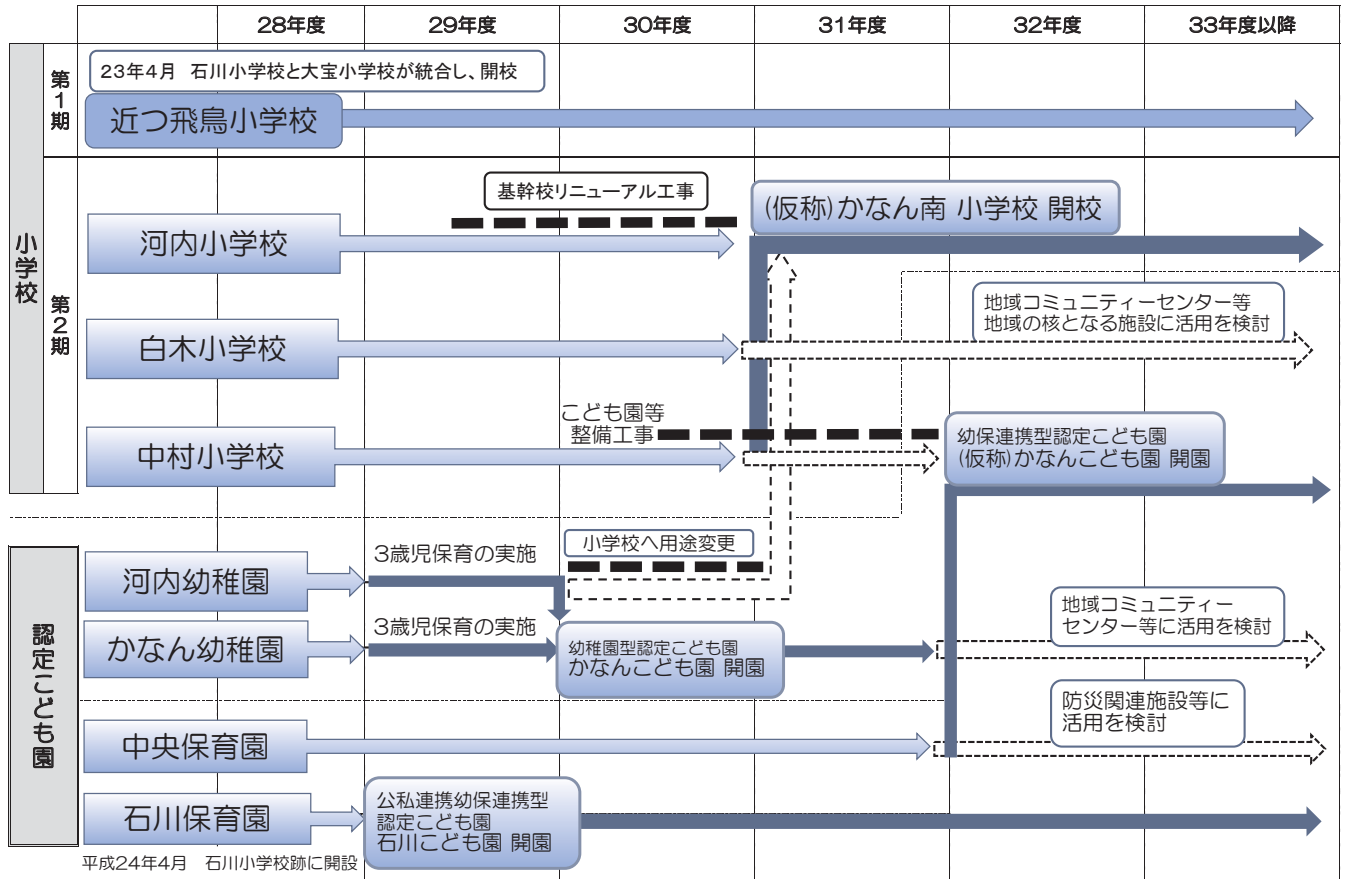
平成 29 年第 1 回臨時会審議結果

○ 全会一致の議案 ○

件名	結果	件名	結果
専決第 1 号 平成 28 年度河南町一般会計補正予算 (第 8 号)	承認	専決第 2 号 河南町税条例の一部を改正する条例の制定について	承認

河南町立小学校・幼稚園・保育園がこのように変わっていきます

次代を担う子どもたちの健やかな成長を願い、より良い教育環境と効果的な教育の実現を目指し、小学校2校、認定こども園2園にする計画を進めています。



小学校の統合

・第1期小学校統合

最も小規模化が進んでいた石川小学校を早期小規模校解消対象校とし、近接した大宝小学校を基幹校として統合に取り組み、平成23年4月に近つ飛鳥小学校を開校した。

・第2期小学校統合

白木小学校、河内小学校及び中村小学校の小規模化が進行しているため、3校を一度に統合することとし、施設の建築年度等を検討した結果、河内小学校を基幹校として平成31年4月に(仮称)かなん南小学校を開校する予定。なお、統合後の小学校の運営等は、今年度から統合委員会を設置し協議していただくとともに、施設のリニューアル工事は、平成29年度から2年間で実施する。

小学校跡地利用

石川小学校の跡地は、

平成24年4月に石川保育園として開園した。

・白木小学校の跡地は、地域の核となる施設に活用する事として、地域の方と協議検討していく。

・中村小学校の跡地は、幼保連携型認定こども園として活用する。

認定こども園

石川保育園は、平成29年4月に公私連携幼保連携型認定こども園「石川こども園」に移行した。

町立幼稚園では、平成29年4月から3歳児の受け入れを行い、平成30年4月に河内幼稚園とかなん幼稚園を統合して、かなん幼稚園の園舎を活用し幼稚園型認定こども園に移行する。さらに、この幼稚園型認定こども園と中央保育園を統合して、平成32年4月には、中村小学校の跡地に、幼保連携型認定こども園(仮称)「かなんこども園」を設置する予定。



中川 博議員

問 日々仕分けでの対応を

答 期末一括仕分けで行う

問 統一的な基準による地方公会計において、現金主義と発生主義の違いと効果は。

答 地方公共団体は、現金主義を採用していた。一方、発生主義は経済の事象の発生に着目した会

計処理が原則で、正確なコスト認識が可能になり、多くの企業で採用されている。

問 複式簿記導入による仕分けは、日々仕分けの自動化で対応するのか。

答 自動化、日々仕分けは、期末一括仕分けで得られる工夫をしている。研究すべきではないのか。

問 無年金救済法により、全国的には約64万人の方が新たに受給資格を得られるが、本町ではどうなっているのか。

答 対象者は76人で、第1号被保険者は22名である。

公的年金の加入期間短縮について

問 無年金者が年金を受け取るための請求手続きの流れは。

答 日本年金機構から年金請求書が入った封筒が郵送され、年金事務所に提出して頂くか、第1号被保険者の方は、保険年金課で受付を行う。

避難所や医療機関等でのお湯等飲料の確保のための災害協定について

問 私ども公明党が推進してきた制度であるが、請求漏れがあっては何にもならない。その対応は。

答 すでに民生委員さんに協力を依頼し、国、府とも連携し対応していく。

学校設備の整備について

問 今後、調査研究するとともに町内医療機関にも情報提供していく。

答 全国の公立小中学校の洋便器数の割合は、43.3%である。災害時ににおける避難所となる学校施設には、高齢者のための洋式トイレは必要だと考えるが対応は。

義務教育段階の就学援助について

問 就学援助の拡大により入学前の支給が可能になった。必要保護者の対応は。

答 要綱改正の趣旨を踏まえ、必要な援助が適正な時期に実施できるように検討を進めたい。



災害対応型自動販売機



洋式トイレ



大門 晶子議員

問 ポイント制度の導入を 答 調査研究し、制度を計画

問 現在実施している介護予防事業の取り組み状況を伺う。

答 認知症予防は脳トレを実施した。脳トレは、鬱指標や認知症チェックで予防効果が見られる。認知症サポーターは1,200人。いきいき百歳体操は11地域で活動。参加者336名となっている。

問 認知症サポーターの見える化を図り、地域の支援活動に繋げてほしいと思うが、いかがか。

答 何らかのフォローアップを今後考える。

問 介護ボランティアポイント制度を導入できないか。

答 調査研究し、本町に適切な制度を計画していきたい。

ファイル形式の手帳の導入を

問 健康手帳配布後の活用状況を伺う。

答 健診の受診状況や在宅での血圧測定、健康教育の参加状況などを記入し、自身の健康管理に活用されている。

問 手帳に記載の健康情報



配布された健康手帳

報は、極めてセンシティブな個人情報である。手帳を落としたりしないように注意し、記入した情報が漏れないよう、手帳の配布時に注意するよう促してほしい。

答 記入方法や管理方法について説明し、注意喚起を行う。

問 高齢者向けの健康手帳は、自宅で保存できるようファイル形式に出来ないか。

答 様々な方法を調査検討する。

問 社会教育課の設置を
求む

問 平成18年の教育基本法改正の趣旨及び、実現に向けての方策を伺う。

答 改正された基本法は、新たに生涯学習の理念が加えられた。多様な活動を通じ、住民の意識を高め、協働によるまちづくりに結びつけていく。

問 本町では、社会教育課が設置されていないが、



教育課の窓口

社会教育法に基づく事務をマネジメントできる職員体制はできているのか。

答 社会教育係を配置、社会教育主事を配置している。

問 まちづくりの担い手である私たち住民は、団体に所属し、知識やスキルの向上を図り、ノウハウを蓄積させてきたが、組織も疲弊しつつある。これを活性化させるには

課の設置が必要だ。

答 本町には課は存在していないが、社会教育は全ての課で対応することになっている。組織を再編するには、検討事項もあるし、一つの課で社会教育を掌握するというのも、今の体制下では無理があるように思う。将来その環境を整えば考えることにした。



廣谷 武議員

問

古墳公園及び周辺の利用

答 文化財の普及に寄与する

広報かなん・町のホームページについて

問 記事・レイアウト・

色・見やすさなどを追求しているのか。

例えば、広報かなんでは高齢者が見やすいよう
にお知らせの内容の文字



広報かなん

を大きくするなど。また

ホームページは町内、町

外の方に情報発信できる

ツールとして河南町の魅

力を最大限にアピール出

来ているか。

答 広報紙のレイアウトは、文字だけでなくイラストを入れ変化をつけ、

二色刷りにしてより見やすくし、ホームページでは拡大できる機能をつけ

見やすくしている。今後、

コストを考慮しながら更に読みやすさや見やすさ

の向上のため研究する。

問 住民の皆さんに伝え

たい重要事項が一目でわかるように裏表紙を使っ

たり、募集・申請・サービ

ス等の事項別、部署別を

まとめて掲載出来ないか。

答 まず手にとつて読んでもらえるよう住民の目を意識した紙面を目指す。

広報のレイアウトを大きく変えないことで、見た

いページがどのあたりに掲載されているか分かり

やすいと思われるが、い

ずれりニユールは必要

と考えている。研究して

いきたい。

問 毎月の広報に町民憲

章や人口増減、また応募

数5、6人の河内弁クイズを掲載しているが、も

っと住民の皆さんが興味のある記事や反響が多いことを載せるべきでは。

古墳公園及び周辺の利用

問 金山古墳・寛弘寺古墳など町内には大きな古墳が2つある。地域に愛

着を持ってもらうよう、

子供たちの教育にどう生

かすのか。

答 学校の授業の中で校

区探検として古墳公園に

出向いているほか、住民の皆さんを対象に、かなんウオーキング等で立ち寄ったりしている。

問 金山古墳は、駐車場は立派だが、古墳本体、周辺は手付かずである。整備してほしいが。



金山古墳

答 史跡の整備活用について研究していきたい。

問 古墳の発掘調査が行

われた時の出土物は、ど

うなっているのか。また

出土物のレプリカ又は写

真でも、古墳現場に展示

できないか。

答 出土物は現在、近つ

飛鳥博物館で保管されて

いるほか、平成28年度か

ら国の補助金を受け、皆

さんに見ていただけると

うに保存処理を行っている。写真の展示等は、研究していきたい。今後、歴史や文化に触れ、学ぶ機会を拡充し、文化財の保護、啓発に努める。



小山 彬夫議員

問 地域公共交通の現状

答 順調に運行している

地域公共交通の現状は

問 カナちゃんバス、やまなみタクシーの利用状況、評価、また課題は。

答 平成28年2月から平成29年1月までの状況は、カナちゃんバスで24,913人が利用、収入約228万円、運行経費2,590万円で約9%の収支率。やまなみタクシーは1,174人利用、収入約21万円、運行経費419万円で約5%の収支率である。見直し後の2月から5月までの4ヶ月

間の実績では、昨年の同期に比べて利用者数約3割増しとなり、概ね順調に運行している。

問 見直し後も課題が残るが今後の運行形態は。

答 デマンド型や路線の見直しなどを含め、本町に見合った運行について交通検討会議で検討し、交通会議で審議をいただきよりよい交通サービスの確立を目指していく。

異常気象について

問 今や熱中症は新たな災害ではないかといわれ

ている。本町の昨年度の救急搬送件数は。

答 19件で、年齢区分では65歳以上が中心で、小中学校以下の被害はない。

問 熱中症から住民を守るための啓発運動が必要だが。

答 町では防災無線での呼びかけや広報紙、ホームページの掲載、ポスター掲示板等により引き続き注意喚起を行っていく。

問 温暖化により風水害が多発している。町としての取り組みは。

答 今年も夜間風水害訓練を6月17日に実施。それに伴い垂直避難訓練への参加協力の呼びかけを全区長にお願いし実施。また、地域版土砂災害マップを策定し支援する。

学校給食について

問 日本の和食がユネスコ無形文化遺産に登録された。学校の食育教育と給食の献立にも取り入れるべきでは。

答 学校では家庭科の授業で四季の移ろいを感じる旬の野菜等の学習を行っている。献立にも年約28品目の河南町の野菜を使用し、四季折々の野菜の利用を取り入れ、保護者の試食会、食育通信で理解を得ている。

問 給食費の無償化に取り組む自治体もある。本

町でも子育て施策として半額助成できないか。

答 一般会計の学校給食費が約9千万円、食材として保護者負担の決算が7,350万円で保護者の負担額を半額助成しても3,600万円財源が必要。他の事業にも大きな影響が及ぶ。現時点で半額助成は困難と考える。



カナちゃんバス



学校給食センター



福田 太郎議員

町行財政改革において

公開は困難と考える

問 今後の歳入面を鑑み、町民税（個人・法人）、固定資産税の不納欠損額を出さないためにも、悪質な税金未納者の住所・名前等を広報紙やホームページで公開すべきでは。

答 今後の歳出面において、抑制対策の具体的な取り組みの中、町住民の方々に多くの負担が伴わない歳出面の削減をどのような方策で考えているのか。

答 住基や税、社会保障に関連するシステムにおいて自治体クラウドを導入することにより大幅な歳出抑制につながる。今後も経常的経費の中で削減できるものはないか検討を進める。

問 町単独（単費）の交付金・補助金の見直しについて、まだ各種団体、各種事業を削減、廃止すべき項目が残っている。本年度中に再度精査し、削減、廃止に向け取り組みをすべきでは。また各種団体、各種事業を削減、廃止した項目の剰余金の一部を各地区老人クラブの補助金（3万円）を増額できないか。

答 削減や廃止には住民の理解が必要と考える。また、一部の団体への増額は厳しいと考える。

問 今後の歳入面を鑑み、町民税（個人・法人）、固定資産税の不納欠損額を出さないためにも、悪質な税金未納者の住所・名前等を広報紙やホームページで公開すべきでは。

答 今後の歳出面において、抑制対策の具体的な取り組みの中、町住民の方々に多くの負担が伴わない歳出面の削減をどのような方策で考えているのか。

問 今後、さらに町行政組織改革をすべきでは。例えば、2階の総務・総合政策・まち創造の3部長を廃止し、総合的な総括部長1名にし、1階の住民・健康福祉の2部長を廃止し、総合住民保健福祉総括部長1名にすることにより行政組織機構改革になるのではないか。

答 削減や廃止には住民の理解が必要と考える。また、一部の団体への増額は厳しいと考える。

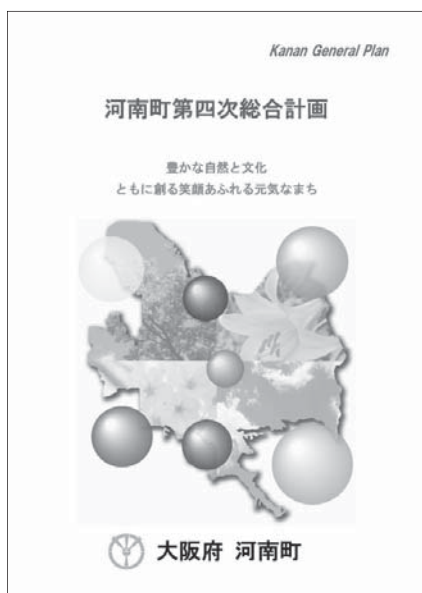
問 平成29年5月12日、土砂埋め立て業者の不当行為につき、水路の指定管理者、河南町長が富田林警察署に刑事告訴状を提出したが、町内での土砂埋め立てへの強力な条例規定を定めるべきと考えるが。

答 基本は大阪府の条例で対応している。町の条例適用を受ける小規模な埋め立て行為が出てきた段階で、条例の強化につき研究したいと考える。

更なる住環境問題対策について

問 平成29年5月12日、土砂埋め立て業者の不当行為につき、水路の指定管理者、河南町長が富田林警察署に刑事告訴状を提出したが、町内での土砂埋め立てへの強力な条例規定を定めるべきと考えるが。

答 これ以上の罰金の増額は困難である。また、定期的にパトロールするなど無許可行為の早期発見に努める。



河南町第四次総合計画

答 住民サービスの向上や行政の効率化等から検討する必要があるが、現行の各部においても所管事務は広範囲に及んでいるため、部の統合は厳しいと判断している。

問 町単独（単費）の交付金・補助金の見直しについて、まだ各種団体、各種事業を削減、廃止すべき項目が残っている。本年度中に再度精査し、削減、廃止に向け取り組みをすべきでは。また各種団体、各種事業を削減、廃止した項目の剰余金の一部を各地区老人クラブの補助金（3万円）を増額できないか。

答 基本は大阪府の条例で対応している。町の条例適用を受ける小規模な埋め立て行為が出てきた段階で、条例の強化につき研究したいと考える。

問 土砂埋め立て及び産業廃棄物等の不当な処理行為を無くすため、条例の罰金の増額など罰則強化やそれ以外の対策は。

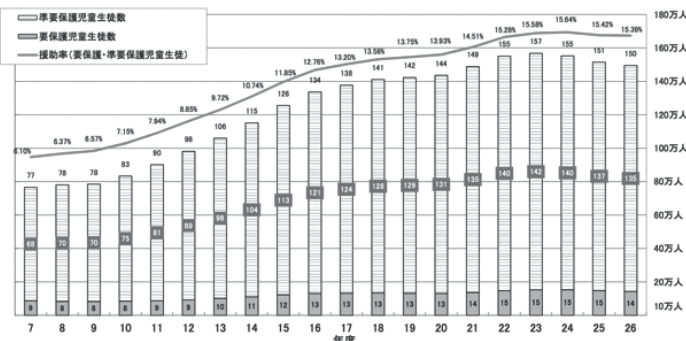


佐々木希絵議員

問 就学援助の改善を 答 支給時期／額を改善する

要保護及び準要保護児童生徒数の推移 (H7~26)

○平成26年度要保護及び準要保護児童生徒数(就学援助対象人数)は、1,495,485人(対前年度▲19,030人)で3年連続減少。
○平成26年度就学援助率は、15.39%(対前年度▲0.03ポイント)で2年連続減少。
○就学援助対象人数や就学援助率の主な減少要因は、児童生徒数全体の減少、経済状況の変化が挙げられている。(市町村へのアンケートより)



※ 要保護児童生徒数：生活保護法に規定する要保護者の数
※ 準要保護児童生徒数：要保護児童生徒に準ずるものとして、市町村教育委員会がそれぞれの基準に基づき認定した者の数 (資料科学部調べ)

問 就学援助の運用は。援助対象を要保護と準要保護に分類し、修学旅行費、新入学学用品費、学用品費、通学用品費、給食費等を支給している。

答 時期に実施できるように見直しを検討する。

問 新入学にかかる費用は、小学校で8万円、中学校で10万円以上といわれているが支給額はそれぞれ2万470円、2万3550円である。必要十分といえないのでは。

答 各市町村の状況を把握した上で、見直しを検討する。

問 文科省の調査では、クラブ活動費を支給している自治体が全体の2割ある。河南中学校では全生徒がクラブに入るように指導されており、クラブ活動費の支給も必要では。

答 各学校へクラブ活動助成金として消耗品や備品が購入できるように助成している。大阪府内の市町村ではクラブ活動費を就学援助で支給していない。

問 府内の市町村ではなく、河南町の子どもたちを見て検討すべき。就学援助としての支給が無理ならば、道具を買えなくても気兼ねなくクラブ活動ができるよう、道具の貸し出しを考えては。

答 クラブ活動の状況を把握して協議したい。

問 かなちゃんバスへの改善要望は

答 かなちゃんバスが運行されているから、頻繁にバス運営に関する苦情を耳にする。町は苦情をどの

問 ように対処しているのか。

答 苦情をもらえば、その都度、委託先MK観光バス会社へ嚴重注意を行っている。

問 バス運営に関する苦情を町に伝えたのに、とても残念な対応をされたと訴える住民が複数いる。住民からの貴重な声を拾い上げ、運営に反映させることが適切に行われていないのでは。

答 職員に対して接客教育の徹底を図る。

問 今年3月に高校1年生の女の子がバス停にて母親を待っていたところ、連れ去られ殺害された事件があった。バス停がかなり暗かったことが事件を引き起こした原因になったと考えられている。町内のバス停は小学生、中学生、高校生が一人で利用するのに十分な安全が確保されているのか。

答 バス停の安全性は十分か

問 バス停の安全性は十分か

答 バス停の状況を把握する。



カナちゃんバス



浅岡 正広議員

問

住民の生命を最優先に！

答

防災施設の機能維持に努める

問 防災の観点から河川

等のしゅんせつ作業の現状について伺う。毎年100万円程度の予算が計上され、主に河川等に自然に堆積した土砂などをさらえ、除去することにより河川や調整池など本

来の役割を果たすものであると理解している。

また、それらは台風や集中豪雨など大きな自然災害に対する防災対策としても必要不可欠な作業であることを以前おこなった関連質問の中でも、

お互いに改めて理解ができたものと認識している。

そこで、ここ数年の作業場所ほか実績を伺う。

答 河川等のしゅんせつ作業の現況は、河川等の土砂の堆積状況を調査し、島川、馬谷川、さくら坂地区の2カ所の調整池の作業を順次実施しているところである。

問 只今の答弁から随時作業が行われているように受け取れたが、少し疑問が残る。確かに以前の私の質問で調整池のトンでもない利用実態を指摘し、早期に対応をされた経緯がある。

その際、その他の調整池内に松の木が生息する

旨も伝えた。現在の状況

は、担当部長に提出した写真から一目瞭然である。当時苗木のようであった松の木が数メートル成長し、その他の雑木も調整池内で大きく茂っている。

以前の答弁で伺った調整池の設置基準及び設置目的からは、遥かに懸け離れた状態だと考えられる。また、この様な状態で本来の機能が果たせるのか不安が募る。現場確認はおろか巡回作業もできていないのか疑問である。

住民が一丸となって防災意識を高め、各地区に自主防災組織の設置や訓練も進む中において、住民の生命、財産を守らなければならない立場から、



調整池内の設備を覆う雑木

施設等を管理する町の見解と今後の対策を伺っておく。

また、ここ数年の局地的豪雨、各地での被害状況などを鑑みても、本町も決して例外ではない。

今回のケースのように、苗木のようなときに対応ができていけば結果、費用の削減につながることは言うまでもない。数億円の変更を我々議員に求めるならば、まず人命に係わる事業を最優先する

ことを強く提言しておく。

答 指摘の通り、調整池の底にコンクリート打設がなされていない部分もあり雑木などが生え、大きく茂っている状態を確認している。

それらは、調整池の貯水能力を著しく阻害するものと考えられる。今後は、堆積土砂だけではなく、影響する木の伐採なども併せて行い、河川や調整池の本来の機能の維持に努めたい。



調整池内で育つ松の木

議会改革の一環として

通年の会期制導入に向けて

現在取り組んでいます

通年議会にすると会期が一年になります。

今までは、町長が定期的に年4回議会を招集していましたが、これからは、4月1日に自動招集されたかたちになり、議長がいつでも議会を開催することが出来ます。議会活動が中断する「議会の閉会期間」をなくすことができます。

議会としては首長へのチェック機能を充実・強化できるとともに、民意の反映や災害時といった緊急対応等に対し、迅速に主体的に取り組むことが可能となります。

開かれた議会、より信頼される議会を目指し、議会改革の一環として通年の会期制導入に取り組んでいます。

Q なぜ通年議会を導入するの？

A 町民ニーズの多様化と政策決定過程における調査、調整案件が多くなり、活動の充実が求められてきたからです。

Q 会期が1年になると会期の始まりはいつからですか？

A 4月1日から始まり、翌年の3月31日までになる予定です。



Q 1年間が会期ということは、毎日議会が開かれているのですか？

A 議会は、毎日開きません。ただ、何時でも開けるよう、議会としても準備が必要です。

Q 通年議会を導入するメリットは？

A 緊急の行政課題にも速やかに本会議を開いて対応できるようになり、議会のチェック機能がさらに強化されます。

3自治体の議員が行政視察に来られました！

兵庫県香美町議会 (8月3日)

広報広聴常任委員会（寺川秀志委員長他6名）の皆様が、議会だより「かなん」の取組みについて、視察に来られました。
表紙写真の撮影時に気をつけている事など、様々な事柄について意見交換を行いました。（広報特別委員会で対応）

岡山県浅口市議会 (8月2日)

広報特別委員会（平田襄二委員長他7名）の皆様が、議会だより「かなん」の取組みについて、視察に来られました。
編集時の工夫や、注意点を中心に活発な意見交換を行いました。（広報特別委員会で対応）

愛知県東郷町議会 (8月1日)

文教民生委員会（加藤達雄委員長他7名）の皆様が、介護保険の新総合事業への移行、小学校適正配置基本計画及び認定子ども園整備について、河南町の取組みを視察に来られました。

シリーズ



32

—その道の達人から学ぶ—

福祉の開拓

～寄り添う難しさを感じながら～



荻野 源吾さん (上河内)

今回は葛城山を天狗谷ルートから5分程登った所にある「記忘庵(きぼうあん)」のご主人、荻野源吾さんをご紹介します。

平成24年に無料の休憩所として開設してから約400人が訪れています。

荻野さんは大学で福祉を教えていましたが、現場を知りたいと考え福祉施設に再就職。そこに勤めながらもご自宅では、不登校児の支援、時には里親として一緒に生活をし、子供の心のケアはもちろんのこと、子供とその親の関わり方までケアされてきました。個別の支援の場として昼夜間わずご夫婦で取り組まれ15年間で約350世帯に寄り添ってきました。

「葛城山のふもとの自然は、子供の心に活力を呼び戻す絶好の場所」とおっしゃっていたのが印象的でした。

その後ある国立大学で勤務。厳しい福祉の現場で得

た教訓を、講義の中で伝え続けてこられました。

「福祉は甘えや依存ではいけない。だから福祉を志す人には、厳しさや苦しさを克服した人のみ得ることのできる強い優しさを持つて欲しい。それが共に生きる力となる。」と福祉に対する熱い想いを語ってくださいました。

施設での実践と大学の研究が各々25年、福祉一筋のあつと言う間の半世紀でしたが、今は囲炉裏を囲み、訪れる人とコーヒーを飲みながら、談笑しながら、その人の人生に少しだけ寄り添うのが楽しみということでした。



兵庫県香美町議会
広報広聴常任委員会 様
(8月3日)

岡山県浅口市議会
広報特別委員会 様
(8月2日)

愛知県東郷町議会
文教民生委員会 様
(8月1日)



編集後記

河南町の議会だよりが全国コンクールで受賞したことにより他県の議会が視察に来られました。住民の皆さまと作ってきた事が評価されたので誇らしいです。

議員セミナー参加

7月25日シテイプラザ大阪にて油木講師による「映画・映像を使ったまちおこし」映像がもたらす新しい可能性とは何かのセミナーについて6名の議員が参加しました。

定例会の日程

平成29年第3回定例会を、次の日程(予定)で開催します。

9月6日 開 会
9月21日 一般質問
9月22日 閉 会
※日程は変更になる場合があります。
(確認は議会事務局まで)